

News Release

生徒の主体的な提案から実現した教育支援 さいたま市立岸中学校理科部デジタルクリエイティブ科へ クリエイター向けノートパソコン「DAIV」を協賛



株式会社マウスコンピューター（代表取締役社長：奥 秀樹、本社：東京都千代田区、以下マウスコンピューター）は、さいたま市立岸中学校 理科部デジタルクリエイティブ科（以下、理科部デジタルクリエイティブ科）の取り組みに対し、クリエイター向けパソコン「DAIV N6-I7G7TBK-C（NVIDIA Studio 認定 PC）」を機材協賛いたしました。本取り組みは、同校の生徒が自ら「なぜこの学びにハイスペックなパソコンが必要なのか」をプレゼンテーションし、動画制作や 3D モデリング、プログラミングなどの創作活動において、現行の学校設備では十分な表現が難しいという課題を訴えたことをきっかけに実現したものです。

マウスコンピューターの教育支援への考え方：

マウスコンピューターは、次世代を担う子どもたちが「やりたいことに挑戦できる環境」を整えることが重要であると考えています。本取り組みのように、学びの現場から生まれる意欲や主体性に寄り添いながら、機材提供にとどまらない教育支援を今後も大切にしていまいります。

地域や教育現場との連携を通じて、未来のクリエイターや技術者の育成に貢献してまいります。

マウスコンピューターのサステナビリティページ：

<https://www.mouse-jp.co.jp/store/company/sustainable/sustainable.aspx>

DAIV ホームページ：

<https://www.mouse-jp.co.jp/store/brand/daiv/>

※ 機材協賛時、理科部デジタルクリエイティブ科在部の学生となります。

■ 背景・経緯

近年、教育現場ではデジタルを活用した表現活動が広がる一方、動画編集や 3D 制作、プログラミングといった創作活動においては、使用するパソコンの性能が表現の幅を左右する場面も増えています。

理科部デジタルクリエイティブ科では、生徒たちが主体的に作品制作やワークショップに取り組む中で、既存の学校設備では十分な表現が難しいという課題がありました。

こうした状況を受け、生徒たちは自らが抱える課題と、必要なパソコンの性能や用途を整理し、複数のパソコンメーカーに対してプレゼンテーションを実施しました。その中で、動画制作や 3D モデリング、プログラミングといった具体的な活用シーンを想定しながら、「どのようなスペックが必要か」「なぜその構成が適しているのか」を自分たちの言葉で説明しました。この主体的な取り組みが評価され、マウスコンピューターを含む 3 社による機材協賛が決定しました。



■ 協賛について

マウスコンピューターは、国内での設計・製造を行うパソコンメーカーとして、ものづくりやクリエイティブ分野での活用を前提とした製品開発に取り組んできました。また、飯山工場での「親子パソコン組み立て教室」や、こどもの職業・社会体験施設「キッズニア」におけるパビリオンの出展などを通じて、子どもたちが“つくる側”の視点でパソコンやものづくりに触れる機会を継続的に提供しています。

今回の協賛では、生徒たちの主体的なはたらきかけと、実活動制作現場で安心して使える構成のノートパソコンを提供しています。本取り組みを通じて、若い世代が自ら考え、表現し、挑戦する環境づくりを支援してまいります。

・協賛機材（第三者団体を通じての提供/貸出による協賛）

・DAIV N6-I7G7TBK-C (NVIDIA Studio 認定 PC)

CPU : インテル® Core™ Ultra 7 プロセッサー 255HX

グラフィックス : NVIDIA® GeForce RTX™ 5070Ti Laptop GPU

メモリ : 32GB

M.2 SSD : 1TB (NVMe Gen4×4)

パネル : 16 型 液晶パネル (ノングレア / sRGB 比 100% / 180Hz 対応)

製品ページ :

<https://www.mouse-jp.co.jp/store/g/gdaiv-n6i7g7tbkcudw101dec/>



■ ワークショップの実施と成果

2026 年 4 月 4 日、浦和コミュニティセンターにて、さいたま市立岸中学校を 3 月に卒業した理科部デジタルクリエイティブ科の生徒たちが主催するワークショップが開催されました。当日は、普段の活動で培ってきた知識やスキルを活かし、生徒が自ら講師となって小学生たちを指導しました。ワークショップのメインテーマは、マイクラフトを活用したアドオン制作に挑戦しました。今回、作業に使用したのは協賛したノートパソコン「DAIV N6-I7G7TBK-C（NVIDIA Studio 認定 PC）」で、最新のスペックを備えたパソコンの高い処理能力により、大容量のデータや複雑なアドオンの動作もスムーズに進みました。また、理科部デジタルクリエイティブ科の生徒たちは、参加者一人ひとりの理解度や作業の進み具合に細やかに目を配り、困っている小学生には積極的に声をかけたり、一緒に画面を見ながら解決策を考えたりと、温かくサポートしていました。生徒たち自らが指導することで、教える側・教わる側双方にとって学びの多い時間となりました。



当日の様子については、マウスコンピューターのオウンドメディア「mouse LABO」にてレポートを公開しております。

mouse LABO レポートページ：

<https://www.mouse-jp.co.jp/mouselabo/entry/2026/09/03/100369>